

# VSS 設定から FTP 経由でコアダンプを取得する手順

## 内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[関連するシスコ サポート コミュニティ ディスカッション](#)

## 概要

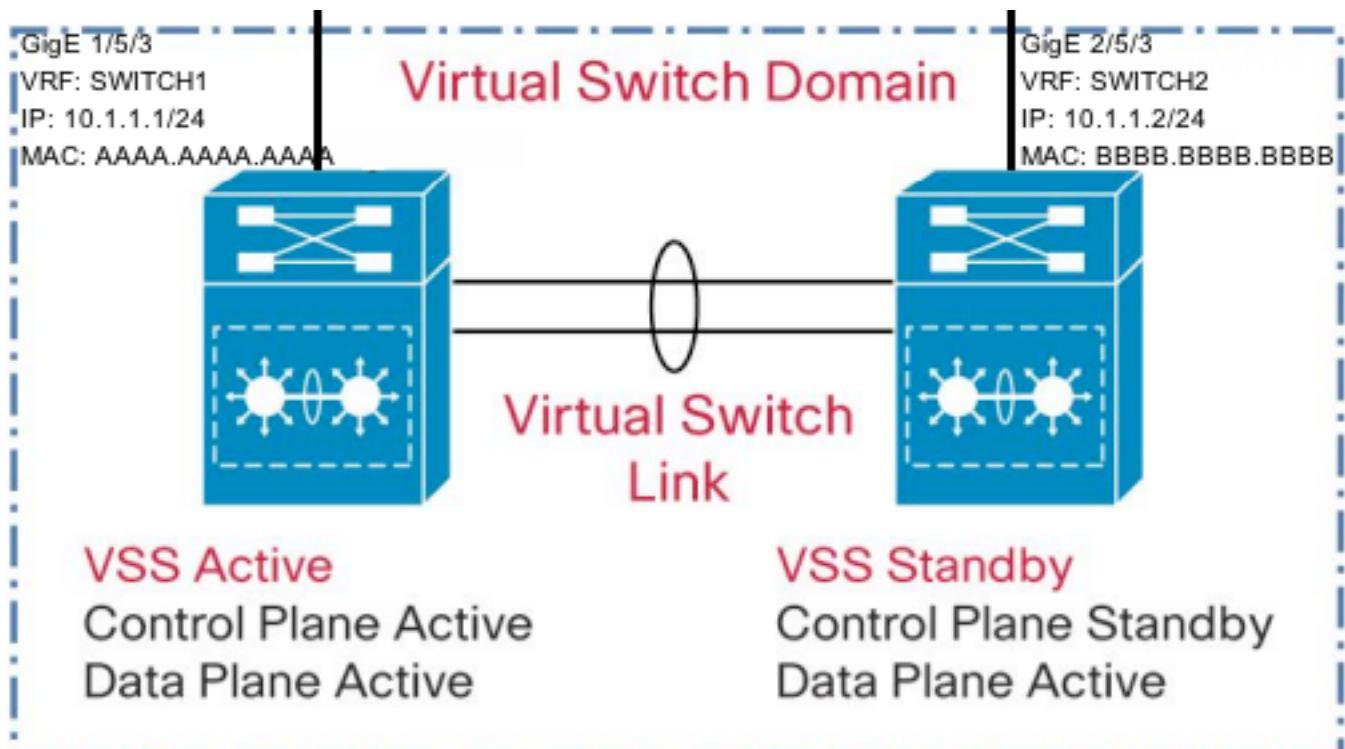
スイッチがクラッシュした場合、クラッシュの原因を特定するために、メモリーイメージの完全なコピー（コアダンプと呼ばれる）を取得すると役立つ場合があります。コアダンプは一般に、テクニカルサポート担当者にとって非常に有用です。

## 問題

仮想スイッチングシステム(VSS)の複雑さを考慮すると、コアダンプをキャプチャすることが困難になる場合があります。このドキュメントでは、Catalyst 6500 VSSからFile Transfer Protocol(FTP)を使用してコアダンプを取得する方法について説明します。

## 解決方法

このガイドでは、次の物理的な設定を前提としています。



1)次のように、デュアルアクティブ検出時に、VSS内の各スイッチの1つのインターフェイスをシャットダウンから除外する必要があります。

```
VSS(conf)#switch virtual domain 10
VSS(config-vs-domain)#dual-active exclude interface GigabitEthernet1/5/3
VSS(config-vs-domain)#dual-active exclude interface GigabitEthernet2/5/3
```

2) 2つのVirtual Route Forwarding(VRF)インスタンスを設定し、次のようにVSS内の各スイッチに1つずつ設定します。これは、VSS内の両方のスイッチが共通のサブネットに接続するために必要です。

```
VSS(conf)#ip vrf switch1
VSS(conf)#ip vrf switch2
```

3) FTPのユーザ名、パスワード、および送信元インターフェイスを設定します。インターフェイスにIPアドレスを設定し、次のようにVRFの一部として設定します。隣接デバイスで接続がフラッピングしないように、MACアドレスを変更する必要があります。

```
VSS(conf)#ip ftp username anonymous
VSS(conf)#ip ftp password cisco@cisco.com
VSS(conf)#ip ftp source-interface GigabitEthernet2/5/3
```

```
VSS(conf)#interface GigabitEthernet1/5/3
VSS(config-if)#no switchport
VSS(config-if)#mac-address AAAA.AAAA.AAAA
VSS(config-if)#ip vrf forwarding switch1
VSS(config-if)#ip address 10.1.1.1 255.255.255.0
```

```
VSS(conf)#interface GigabitEthernet2/5/3
VSS(config-if)#no switchport
VSS(config-if)#mac-address BBBB.BBBB.BBBB
VSS(config-if)#ip vrf forwarding switch2
VSS(config-if)#ip address 10.1.1.2 255.255.255.0
```

4) FTPサーバのIPアドレスが直接接続されたサブネットにある場合(10.1.1.3など)、ルート設定は不要です。ただし、FTPサーバが直接接続されたサブネットにない場合は、FTPサーバに到達するために各VRF内にルートを設定します。

```
VSS(conf)#ip route vrf switch1 0.0.0.0 0.0.0.0 10.1.1.254
VSS(conf)#ip route vrf switch2 0.0.0.0 0.0.0.0 10.1.1.254
```

5)各VRFインスタンスからpingを送信して、FTPサーバへの接続を確認します。

```
VSS#ping vrf switch1 10.1.1.3 Type escape sequence to abort. Sending 5, 100-byte ICMP Echos to
10.1.1.3, timeout is 2 seconds: !!!!! Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max
= 1/1/4 ms
```

6)コアダンプ生成用にVSSで次の詳細を設定します。

```
VSS(conf)#exception core-file incoming/FTP_CORE_FILE compress
VSS(conf)#exception protocol ftp
VSS(conf)#exception dump 10.1.1.3
```

**警告**：この設定が存在する場合、VSS上でクラッシュが発生した場合、アクティブなスイッチはコアダンプが書き込まれるまで稼働したままになります。コアダンプが完全に書き込まれるまで、VSSスタンバイスイッチはアクティブロールを引き継ぎません。これは少なくとも数分であり、ネットワーク応答時間、FTPサーバの場所などに依存する場合があります。FTPサーバへの書

き込みには、ファイルのサイズやネットワーク遅延に応じて長時間かかる場合があります。